

進撃の巨人

attack on titan

22

諫山創

Shounen Magazine



目次

だい 87 話
きょう かい せん
境界線

5

だい 88 話
しん げき きょ じん
進撃の巨人

51

だい 89 話
かい ぎ
会議

97

だい 90 話
かべ む がわ
壁の向こう側へ

143

ウォール・マリア奪還を果たした調査兵団の“戦果”。
エレンの父グリシャ・イエーガーが遺した3冊の本。

それは、エルヴィンが己が心臓を捧げてでも
知りたかったこの“世界”の真実……。

エルディア帝国の勃興

今を遡ること1800年以上昔——
エルディア人の始祖「ユミル・フリッツ」は
「大地の悪魔」と契約し、巨人の力を手に入れた。

巨人の力でユミルは、荒れ地を耕し、道を造り、橋を架け、
国を豊かにし、エルディア人に富をもたらした。

エルディア帝国を築いたユミルの力は、死後「九つの巨人」に分けられ、
帝国は古代の大国マーレを亡ぼし、大陸の支配者となった。

そして、巨人になる力を持った「ユミルの民」、すなわちエルディア人は、
以降およそ1700年間にわたり他民族を弾圧・征服し、民族浄化を続けた。

巨人大戦、マーレによる国家転覆、そしてエルディア人の離散

1700年の後、増長したエルディア帝国はマーレによる内部工作を許し、
誘発された内戦の末、弱体化した。

そして、「九つの巨人」の内の「七つ」までを手中に収めたマーレが、
100年ほど前の「巨人大戦」に勝利し、エルディアを打倒した。

他の巨人すべてを支配し操ることができる「始祖の巨人」を
継承しながらも、戦うことを放棄した145代目エルディア王
フリッツは、一部の国民を引き連れて辺境の「パラディ島」に逃れ、
築いた“三重の壁”の中に籠もった。

一方、大陸に踏み留まり、取り残されたエルディア人は
収容区に隔離され、マーレの圧政下に置かれた。

エルディア復権派の転機とマーレの戦士

大陸の反体制地下組織「エルディア復権派」は、マーレ政府内に潜む内通者「フクロウ」の補佐のもと、秘密裏に勢力を拡大、壁の中に持ち去られた「始祖の巨人」を“真の王家”の手に取り戻す計画を進めていた。

その中で、島に逃れることを拒んだ“真の王家”の末裔ダイナ・フリッツとグリシャ・イエーガーは結ばれ、息子ジークを授かった。

一方、マーレ政府も「始祖の巨人」奪還を企図し、大陸各地のエルディア人収容区から「マーレの戦士」を募った。

集められたのは、男女を問わず5歳から7歳のユミルの民。その目的は、マーレ政府管理下にある「七つの巨人」の器に値する者を選別することにあった。

「マーレの戦士」になるべく遣わされたジークは、七つになった頃、両親をマーレ政府に密告。捕らえられたエルディア復権派は、全員「楽園」に送られた……。

そして、大いなる悲劇の時が訪れる……。

